

授業科目名	学習・発達論	開講年次	3	単位数	2
担当形態	単独	教員の免許状取得のための選択科目			
科目区分	教育の基礎的理解に関する科目				
各科目に含めることが必要な事項	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				
サブタイトル	発達観と教育観を伝える	担当者	丸橋 唯郎		
授業概要	<p><b>【概要】</b>  一般に学習とは、経験によって新しい行動傾向を獲得したり、既存の行動パターンに熟達したり、あるいはそのような行動の変化を可能にするような内的過程を獲得したり組織化、再組織化したりすることをいう。他方、発達とは、人間の個体発生の過程に焦点をあて、受胎から死に至るまでの人間の心身における形態や機能の成長と変容の過程をさす。本講義では、一般的な発達理論と共に、特別な支援を必要とする幼児、児童、生徒の学習上又は生活上の困難に着目し、彼らの個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解し、彼らの十全な発達、成長を具体的に支援する方法を考えていく。</p> <p><b>【到達目標】</b>  ① 受講者が精確な発達観、教育観を生徒に伝えられる能力を身につける。  ② インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の関する生徒の理念や仕組みを理解している。  ③ 軽度発達障害、肢体不自由等の児童の生活上の困難についての基礎的な知識を身につける。</p>				
履修条件	教育原理、教育心理学、教育行政学(教育法規)の単位認定者で、3年次以降の者。(教育)心理学、精神医学に深い関心をもつ者。				
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b>  適時資料を配布する。</p> <p><b>【参考書】</b>  『カプラン 臨床精神医学ハンドブック』MEDSI.</p>				
授業回数	授業内容				
1	発達の定義 予習：発達の理解	復習：発達を自分の言葉で説明する。			
2	発達の要因と研究方法 予習：要因を分析する。	復習：数値をまとめる。			
3	一般的な発達段階区分と各段階の特徴 予習：一般論を調べてくる。	復習：数値を確認。			
4	特別な支援を必要とする幼児、児童、生徒の理解① --- 特別な発達段階理論 予習：特別な発達段階を調べる。	復習：段階を概念化する。			
5	特別な支援を必要とする幼児、児童、生徒の理解② --- 身体発達と社会性の発達 予習：社会性の意味を調べる。	復習：社会と社会性の類型化。			
6	特別な支援を必要とする幼児、児童、生徒の理解③ --- 知的発達と言語の発達 予習：言語の意味を調べる。	復習：言語を理解する。			
7	学習の定義 予習：Learnihg 概念の検討	復習：学習を体系化する。			
8	経験説と認知説 予習：経験、認知の意味の確認。	復習：抽象言語の理解。			
9	外発的動機づけと内発的動機づけ 予習：motivation を調べる。	復習：動機付けの検討。			
10	社会的動機づけ 予習：よりマクロな動機付けの検証。	復習：動機付けの類型化。			
11	全習法と文習法 予習：全習法を調べる。	復習：文習法の確認。			
12	集中法と分散法 予習：集中、分散の概念の確認。	復習：エンドルフィンとの関係を確認。			
13	記憶の分類 予習：memolization の意味の確認。	復習：記憶を説明する。			
14	再生的思考と拡散的思考 予習：再生、拡散という概念の確認。	復習：思考についてまとめる。			
15	精神医学と発達 予習：科学としての医学を考える。	復習：医学の限界をまとめる。			
評価方法	授業中に複数回行なう小テスト(90%)、受講意欲・態度(10%)で評価する。				
評価基準	S・A：授業内容をよく理解しており、応用力もある、B：授業内容を理解している、C：最低限の基礎力を備えている、D：基礎力が不足している、E：基礎力が著しく不足している、F：評価不能。				
その他	履修者は、教育心理学の内容をしっかりと復習しておくこと。				